

Manifesto 50

●「人づくり」、「産業づくり」、「暮らしづくり」、「まちづくり」、「手づくり」の5つの生き生きPlanを基本に、それぞれの政策を「1年以内に実行(短期目標)」、「4年以内に実行(中期目標)」、「4年以内に着手(長期目標)」の3つに区分しました。

●1年以内に実行するものについては、平成17年度計上の予算(予定を含む)をあて、18年度以降については、各年度で予算化します。今までもそうであった様に、これからも積極的に行財政改革に取り組み、政策実現のための財源に充当していきます。

●社会・経済情勢などの変化でマニフェストの変更を余儀なくされる場合は、その都度「説明責任」を果たしながら、市民の皆様のご理解を求めていきたいと存じます。



すぐやる。18 短期目標
1年以内にゴール!

I 人づくり 生き生きPlan

- 1 中央公民館を改装して、市内に点在する貴重な遺跡や文化財を収蔵し、新たに「文化財センター」を開設します。(7,895万円)
- 2 江戸末期、市内領家に一時居住していた儒学者の安井息軒の出身地である宮崎県清武町に小・中学生を派遣し、文化交流を行ないます。(169万円)
- 3 中高年が、心身共に元気な生活を送るための指導者を養成します。(67万円)

II 産業(もの)づくり 生き生きPlan

- 4 快適で魅力ある商店街づくりを支援し、街の活性化を図るために、今年の年末に5億円分のプレミアム付きコミュニティ商品券を発行します。(5,000万円)
- 5 商店街の街路灯などの新設・改修や空き店舗の改修などへ補助をします。(1億2,937万円)
- 6 植木産地の振興と屋上緑化の推進を図るために、屋上緑化技術の向上に努める農業者団体へ補助をします。(150万円)
- 7 SKIPシティを核とした次世代産業を育成するために、今年も国際Dシネマ映画祭を開催します。(2,000万円)

- 8 SKIPシティに集積する映像関連産業をPRすると共に、その知識を普及させるために、小学生を対象とした「デジタル映像制作教室」を開催します。(118万円)

III 暮らしづくり 生き生きPlan

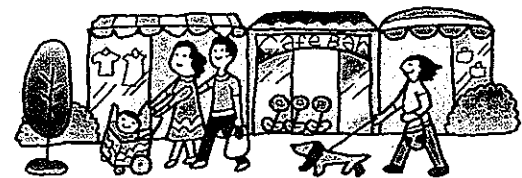
- 9 身体障害者療護施設に対して建設費の一部を補助します。(9,817万円)
- 10 精神障害者とその家族に対して相談や支援などを行なう団体へ補助をします。(671万円)
- 11 地域の防犯力の充実強化のために、市民の防犯意識を高めると共に自主防犯組織の活動を支援します。(3,842万円)
- 12 地域の防災力の充実強化のために、食糧や資機材の整備と併せ、防災アセスメント調査を行ないます。(3,305万円)

IV まちづくり 生き生きPlan

- 13 喫煙マナーの向上を目指し、路上喫煙防止の啓発活動を行なうと共に、路上喫煙禁止地区を設けます。(1,568万円)
- 14 太陽光発電システムや雨水貯留施設を住宅に設置される方へ補助をします。(870万円)
- 15 「文化推進室」を設置し、文化芸術の振興とアートな街を創出します。

V 手づくり 生き生きPlan

- 16 これまでと同様に、市長への手紙やパブリックコメントなどをとおして、市民の意見を政策へ反映させます。
- 17 「行政経営推進室」を設置し、行政の効率的経営を推進します。
- 18 ファシリティ・マネジメントという戦略的経営手法を導入し、市有財産の有効活用と効率的運用の調査・研究を行ないます。(1,794万円)



着々とやる。27 中期目標
4年以内にゴール!

I 人づくり 生き生きPlan

- 19 川口駅前に、市民の知的欲求に応える50万冊の図書館機能を有する「映像・情報メディアセンター」を開設します。(平成18年度)
- 20 中高年の生きがいづくりや自己実現を応援する「市民大学」を、市民との協働により開設します。(平成19年度)
- 21 49万市民と手を取り合い、「日本一のボランティアの街」を実現するために、全市立高等

2005~2008 Manifesto 50

学校に生徒主導のボランティアルームを設置し、地域の児童・生徒のボランティア活動の拠点とします。(平成20年度)

- 22 義務教育9年間の一貫した教育カリキュラムにより「確かな学力の向上」を目指す小・中一貫教育のモデル校を設置します。(平成20年度)
- 23 教育改革をより効果あるものにするために、校長の権限を強化するよう県の教育委員会に要請すると共に教員の研修を充実させます。(平成20年度)

II 産業(もの)づくり 生き生きPlan

- 24 中小企業の創業や新事業の展開などを支援し、地域産業の振興を図るために、少人数私募債発行支援事業を行ないます。(平成18年度)
- 25 安行ブランドを活かし、都市型緑化産業を育成するために、川口駅前広場などを活用して、展示即売や緑化相談のコーナーを開設します。(平成18年度)

III 暮らしづくり 生き生きPlan

- 26 「子育てが楽しくなる街」を目指し、子育て支援体制を整備するために、リリア2階に子育て総合支援施設「子育てステーション」を開設します。(平成18年度)
- 27 子育て施策の総合推進のために、「子育て支援課」を設置します。(平成18年度)
- 28 お年寄りの生きがい健康づくりのために、市民団体と協働で健康生きがいづくりサポーターを養成します。(平成18年度)
- 29 介護家庭を支援するネットワークづくりに市民と協働で取り組みます。(平成18年度)
- 30 川口駅前に市の窓口業務などを集約した年中無休の「行政センター」を設置します。(平成18年度)
- 31 障害者の自立支援のために、市民運営による喫茶コーナーを兼ねた障害者の「製品共同販売店」を開設します。(平成18年度)
- 32 マンションのコミュニティづくりを支援する総合窓口を設置します。(平成18年度)
- 33 寝たきりなどにより常時介護が必要で、自宅での介護が困難な方のために、特別養護老人ホームの定員を340人分増員します。(平成19年度)
- 34 待機児童の解消のために、保育所の定員を430人分増員します。(平成20年度)

- 35 サッポロビール埼玉工場跡地に、市民の芸術に対する関心と理解を深めるための市民参加型施設「アートギャラリー」を開設します。(平成18年度)
- 36 環境に優しい緑豊かな街を目指し、市民が取り組む地球環境と緑化推進の支援を目的に「環境みどり基金」を創設します。(平成18年度)
- 37 地球温暖化防止を市民と協働で推進します。

- 38 Kids' ISOを全市立小学校に導入します。(平成20年度)
- 39 景観を重視し、調和のとれた街並みを創造するために、「景観条例」を制定します。(平成20年度)

(平成18年度)

- 40 現在の「ボランティアサポートステーション」を充実・発展させた市民との協働推進施設「市民パートナーステーション」を新たに開設します。(平成18年度)
- 41 経費の削減と市民サービスの向上を図るために、公の施設に指定管理者制度を導入します。(平成18年度)
- 42 自治のあり方や市民参加・協働などを規定した「自治基本条例」を制定し、より強固な市民自治を確立します。(平成20年度)
- 43 地域イントラネットで情報化を推進し、電子市役所を構築すると共に、次世代型のユビキタスネット社会の実現に向けて、情報通信技術環境を整備します。(平成20年度)
- 44 行政経営品質の向上と人材育成を図るために、行財政改革と市職員自らの意識改革を継続的に推進します。(平成20年度)
- 45 行政評価をさらに推進し、その結果を市民の皆様へ公表します。(平成20年度)

V 手づくり 生き生きPlan

- 46 学校教育と生涯学習の拠点施設「総合教育センター」の開設に向けて取り組みます。
- 47 市立高等学校の改革をより強力に進めるために、中・高一貫校の設置に向けて取り組みます。
- 48 より開かれた学校づくりのために、コミュニティスクールの設置に向けて取り組みます。
- 49 昭和8年の市制施行以来の懸案である斎場建設に向けて取り組みます。
- 50 有料化の検討を含め、ごみの更なる減量化に向けて取り組みます。



しっかり取り組む。5 長期目標
4年以内にスタート!

- 46 学校教育と生涯学習の拠点施設「総合教育センター」の開設に向けて取り組みます。
- 47 市立高等学校の改革をより強力に進めるために、中・高一貫校の設置に向けて取り組みます。
- 48 より開かれた学校づくりのために、コミュニティスクールの設置に向けて取り組みます。
- 49 昭和8年の市制施行以来の懸案である斎場建設に向けて取り組みます。
- 50 有料化の検討を含め、ごみの更なる減量化に向けて取り組みます。

※ 区画整理・下水道・河川整備など生活に密着した事業についても、引き続き強力に推進してまいります。